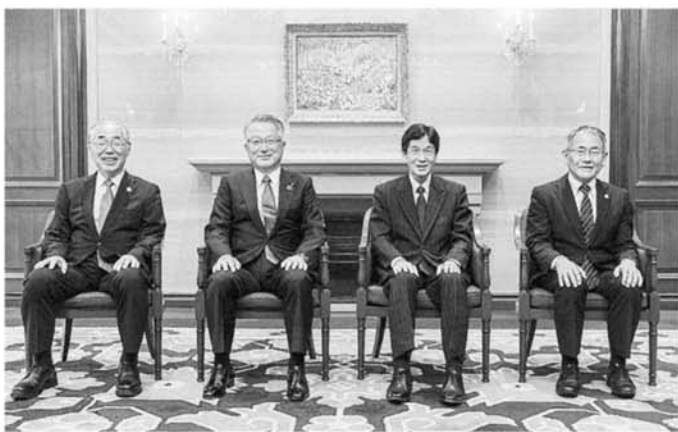


滋賀大学100周年記念鼎談

次代を担う豊かな人材の育成を目指して



1923年、前身の彦根高等商業学校の開校以来、「士魂商才」を建学の精神として経済発展を担う人材の育成に取り組み、滋賀大学は今年100周年を迎えました。これを記念して、経済学部およびデータサイエンス学部の同窓会組織・一般社団法人 陵水会理事長の進行のもと、学長と卒業生の二人が、学生時代の学びや次の時代への期待について語り合いました。

「逆風でも前へ」 学生生活における学び

山田 滋賀大学卒業生の土井会長、村上社長は、どんな学生生活を送られたか。

土井 体育でヨットを操縦するという滋賀大学らしい授業がありました。印象に残っているのは、湖上で風を讀む中で、逆風や横風が吹いても前に進む方法があることを学んだことです。社会に出て、向かい風にさらされるたびにヨットのことを思い出して、必ず打開策があると追究してきました。これは後輩たちにも常々話しています。



土井 伸宏氏 経営学科・大学28回・80年卒
株式会社京都銀行 代表取締役会長

村上 生活費のためのアルバイト以外は自由な時間が取れたので、いろいろな本を読んでいたほか、ハンドボール部の練習に精を出していました。辛くて仕方なかったのですが、この楽しくない練習をどう楽しむか、ということを考えていました。後々これが役に立ち、楽しくもなりましたね。

山田 学生時代には学業以外からも学ぶことが多いですが、最近の滋賀大学においてはいかがですか。

竹村 コロナ禍の期間は部活動が制限されていましたが、現在は各種大会で好成績をあげています。近年の学生は学業や部活動も然りですが、参加するからにはという気持ちからなのか、何にでも

大変熱心に取り組んでいます。山田 一生懸命物事に打ち込める環境がありますね。一般に最近の学生は安定志向が強いといわれますが、企業から見るとどのような印象でしょうか。

土井 私たちの若い頃、情報を得るためにはいろんな人に会ったり海外へ行ったりする必要がありました。現在は情報は次々と入ってきます。好奇心や冒険心が育まれないだけではなく、自分で発見する喜びも得られず、考える力も育たないのではと憂慮します。村上 採用試験をしていると、一般的な傾向として成績も良く自己PRも上手ですが、社会人としての覚悟に乏しい印象です。海外での経験は非常にプラスになるので、海外勤務の希望を聞いてみますが、消極的な人が多いです。

安定から改革へ 成功への努力

山田 滋賀大学での学びを経て、それぞれの企業で力を尽くしてこられたお二人ですが、キャリアにおいてどのような転機が訪れましたか。

土井 大きな転機は、2015年に頭取になった時です。その翌年に日銀によるマイナス金利政策が始まると、目の前の景色が大きく変わりました。お金を預かり、貸し出すというそれまでのやり方だけでは立ち行かなくなる、銀行にはこの先何ができるのかを必死で

考えました。金融機関にとっては強い逆風が吹く中、冒険で申し上げたようにヨットの授業の教えが生きており、乗り越える方法を探ってきました。村上 現在は主に電気・電子機器を扱う会社ですが、私が入社した当時は繊維の会社でした。工場に配属され働く仕組みを改善する仕事を任せられたのが、先ほど安定志向の話があったように多くの人は安定を好み変化を嫌うので、改革を提案してもなかなか納得してくれません。なぜ変えるのか、変えたらどれほどプラスになるのかを懇切丁寧に説明して、やっと納得して協力してもらえます。人は理屈ではなく感情で動くことを学んだことが一つの転機であり、自身のステップアップでした。二つ目は、研究所で新規事業の立ち上げを命じられた時です。経営学修士(MBA)の本を読みあさり、事業戦略やマーケティング、ファイナンス、生産管理に至るまで一通り勉強しました。しかしビジネスは教科書通りにやっても成功するとは限りません。この新規事業の立ち上げは失敗しましたが、理屈が知識として頭に入っていないだけ成功はもつと速かったに違いありません。そこに自分の知恵を加えて創意工夫することで成功につながると学びました。



村上 雅洋氏 経営学科・大学30回・82年卒
日清紡ホールディングス株式会社代表取締役社長

人間力や創造性を高める 新たな時代の教養

山田 お二人がさまざまな局面を乗り越えてこられたのは、人間力や総合力の豊かさによる部分も大きいと思いますが、いま社会で求められるスキルや考え方はどういったものがありますか。

土井 学生の頃から専門分野の勉強も必要ですが、そのベースとなる語学力のレベルアップが重要で

竹村 彰通 滋賀大学学長



竹村 彰通 滋賀大学学長

竹村 滋賀大学のデータサイエンス(DS)教育では、単にデータを読み取るだけでなく応用力や創造性を駆使して活用できるDSリテラシーを高めることを重視しています。情報があふれる中で、新しい技術として有用な生成AIも、うまく使えば効率化につながります。いまの時代に求められる教養は、知識というより方法やツールを身につけることです。視野が広がれば創造性も育まれます。滋賀大学では全学でリベラルアーツ教育に力を入れ、学生が興味のあるものを探せる環境づくりに取り組んでいます。それにより、自分の強みを生かした就職や起業など選択肢も多様化していきます。研究の実用化による地域社会への貢献を目的に、大学発ベンチャーの認定・支援も行っています。また、近年社会人に求められるスキルや知識を身に付けてほしいと、大学と連携して、大学の役割を果たすべきと捉え、ビジネスサイエンス講座を提供しています。DSをデータ分析の手法として活用し、課題解決や新たな価値の創造につながる実践的な内容です。

村上 中堅の社員に対しては、マニュアル通りにただこなすのではなく、これまでのやり方が正しいのか自分で考えるように言っています。竹村 最低限のコミュニケーションができる語学力はベースとして必要ですね。企業人として成功するためには、自分も多様な人間の一人だと自覚する多様性と倫理観が必要不可欠と考えています。

次の100年へ 一歩先行く人材育成を

山田 卒業生のお二人に、次の100年に向けて滋賀大学への期待の言葉をお願いします。

土井 滋賀大学で過ごした4年間で得たものは大きく、いまの自分を作りあげた大きな要素となっています。トップに立つ人材というよりも、社会に役立つ人材を育てる仕組みをお願いしたいと思っています。今後の展開に大いに期待しています。村上 先駆的な試みで、滋賀大学に対する認知度がさらに高まればと思います。全国で初めてデータサイエンス学部を開設して以来、いま多くの大学が続いています。常に時流の一歩先を行く大学であってほしいと思います。竹村 来年4月、文部科学省に採択されている「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」で、大学院経済学研究科に経営分析学専攻を新設予定です。これは経営学とDSの両方を身に付けることにより、デジタルトランスフォーメーション(DX)化が進むこれからの時代に求められる人材育成を図るものです。DSの教育研究をはじめとした知識の拠点を目標として、良い先行事例となる役割を担っていると実感しています。今後応援をお願いします。山田 皆さん、本日はありがとうございました。

これまでの100周年記念事業

- 2022年度秋学期 特別講義「現代の経営」開講
小林文彦氏(伊藤忠商事副社長) 朝田照男氏(丸紅元代表取締役会長・名誉理事)
- 2022年11月18日 滋賀大学ビジネスサイエンスフォーラム 東京開催
- 2022年度～ 社会人のためのリスキリング教材 「ビジネスサイエンスMOOC」開発・開講
- 2023年9～10月 滋賀大学市民講座(全3回)開講
バックマックスさん(タレント) ルソカ典子氏(コスモエネルギーホールディングス常務執行役員CDO) 磯田道史氏(国際日本文化研究センター教授)
- 2023年11月4日 100周年記念式典開催
千玄室氏(裏千家前家元)特別講演

滋賀大学の取り組み News & Topics

高度情報人材育成 (データサイエンス学部・大学院の拡充)

大学院データサイエンス研究科博士前期課程の定員を2029年度までに現行の40人から100人に大幅増、データサイエンス学部の定員を100人から150人に1.5倍増などとする提案が、大学改革支援・学位授与機構の本年度「大学・高専機能強化支援事業」ハイレベル枠に採択されました。

経営学×データサイエンス 日本初の経営分析学専攻を開設

DX化時代に必要とされる人材育成のため、経済・経営の専門知識にDSの実践的知識とスキルを融合させ、日本初の学位「経営分析学修士」(MBAN: Master of Business Analytics)を授与する「経営分析学専攻」を24年4月、大学院経済学研究科に設置します。

ノーベル平和賞受賞のムハマド・ユヌス氏 特別講演を開催 YouTubeで世界に配信

バングラデシュのグラミン銀行創設者で06年にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏によるリモート講演会を今年8月に実施しました。

- 滋賀大学100周年おめでとうございます 滋賀大学データサイエンス連携コンソーシアム会員一同
- あいおいニッセイ同和損害保険 アイセロ イシダ 市川基商事 伊藤忠テクノソリューションズ エイチ・ツー・オー リテイリング 江崎グリコ SMBC信託銀行 NXワンビシアークイブズ オムロンソーシアルソリューションズ キントー クレオ サカタインクス 佐藤工業 SUMCO シーエーシー SCREENセミコンダクターソリューションズ SOMPOリスクマネジメント 田辺三菱製薬 ディナレッジ Terakoya.AI 東洋システム 日本ソフト開発 PKUTECH 日立建機ティエラ 日立造船 日野自動車 日吉 平和堂 三井住友フィナンシャルグループ mitei ミラカン メタルワン 近江データサイエンスイニシアティブ